

東北地方太平洋沖地震 および福島原子力発電所 における事故に関する決議を 全会一致で可決

平成23年3月11日に発生した東日本大震災にともなう福島原子力発電所の事故は、これまで国の原子力政策に協力してきた小浜市として大きな衝撃を与えました。市議会としても、犠牲となられた方々への哀悼の意と被災された皆様へのお見舞いとともに、原子力政策の更なる安全安心を求める決議を全会一致で可決いたしました。決議の内容は次のとおりです。

東北地方太平洋沖地震および福島原子力発電所に おける事故に関する決議（全文）

このたびの東北地方太平洋沖地震は、大津波の発生とともに未曾有の大惨事となり、犠牲となられた多くの方々に、心から哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

いまだに、行方の分からない方々や避難所での不自由な生活を強いられている方々がたくさんおられ、今後とも、被災地への最大限の支援が必要です。

この地震にともなう福島原子力発電所の事故は、放射性物質の放出や建屋の爆発など、あらゆる面でこれまでの想定をはるかに超えた事態であり、これまで国の原子力政策に協力してきた本市においても憂慮すべき問題であります。

今後、被害を最小限に食い止めることはもとより、徹底した原因究明と検証を行い、二度とこうした事態を引き起こさない対策が求められます。

よって、小浜市議会は、このような事態を踏まえ、市民の安全・安心な暮らしを守るべく、原子力防災対策と総合防災対策の充実、強化に取り組んでまいります。

以上、決議する。

平成23年3月23日

小 浜 市 議 会

3月定例会の 概 要

平成23年第2回定例会は、平成23年2月25日から3月23日までの27日間の会期で開催しました。

今定例会では、各会計補正予算案のほか、平成23年度の当初予算について提出され、慎重に審査し、全件可決いたしました。

また、人事案件として、人権擁護委員の推薦について、それぞれ同意しました。決議の内容は次のとおりです。

◎議案の議決状況（詳しい議決結果は議会ホームページに掲載しています）

	可決件数	可決議案の主な内容
承認	1件	22年度一般会計補正予算の専決承認
予算	23件	22年度各会計補正予算および23年度各会計予算
条例	10件	企画部の分掌事務に「市民協働に関すること」を追加する小浜市部設置条例の一部改正についてほか
報告	2件	除雪中に発生した事故などの損害賠償を専決処分したことの報告
人事	1件	人権擁護委員の推薦について
その他	8件	市営住宅の悪質な長期滞納者に対し法的処分を求めるための訴えの提起についてほか

人事案件に同意

《人権擁護委員に推薦》

古谷 活や 氏
(滝谷：再任)

◎可決した会計別補正予算額

会計区分	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	446,404千円	14,497,431千円
特別会計	478千円	8,798,777千円
企業会計	1,345千円	935,040千円
合計	448,225千円	24,231,248千円

予算常任委員会委員長報告より (概要)

○ 22年度補正予算関係

2月25日に全体会を開催し、関係理事者の出席を求め審査。

採決の結果は、付託された12議案すべてを全員挙手により原案どおり可決すべきものと決した。

主な補正予算の内容は、例年行われる事業費や各種補助金・交付金の確定や確定見込みに伴う精算に加え、1月臨時会で可決した「地域活性化交付金・住民生活に光をそそぐ交付金」の追加交付を活用した諸事業のほか、各基金への積立て、編入など、これまで議会などで指摘のあった諸課題に配慮した予算の手当てがされていた。

審査過程における意見等については、総務部関係では、低迷する厳しい経済状況下における市民税の歳入見込みについてを、民生部関係では、高額医療費の増額に関してを、産業部関係では、河内川ダムに関してを、教育委員会関係では、弓道場の移転や小浜中学校プール改築に関しての質疑がなされた。

○ 23年度当初予算関係

2月28日の全体会において、各分科会へ調査依頼し、再度3月18日に全体会を開催し、各分科会長の調査報告を受け、理事者

への再質疑、議員間討議、討論を経て採決した。

採決の結果は、議案第16号、21号、26号の3議案を挙手多数により、その他8議案を挙手全員により原案どおり可決すべきものと決した。

審査過程における意見等については、企画総務分科会では、防災情報メール配信システムや防災行政無線整備事業、夢づくりコミュニティ支援事業、地域コミュニティサイト開設事業などについて質疑が行われた。

産業分科会では、企業立地推進事業、若狭おばま観光協会活動事業補助金、鯉川シーサイドパークいきいき広場整備事業、道路整備事業(宇久線道路改良)、農産物直売所・休憩所整備事業などのほか、使用料金改定の行われる下水道事業特別会計については、歳入確保に関する企業努力や受益者負担のあり方などについて質疑が行われた。

民生文教分科会では、みんなで健康づくり支援事業、地域ふれあいサロン自立支援事業、すこやか介護用品支給事業、さわやか市民サービス事業、保育園保育保護措置費などのほか、給食調理員のあり方や嘱託職員の待遇などについて質疑が行われた。

予算常任委員会の 審査状況

◎審査結果

議案第4号 ～議案第15号 22年度一般会計補正 予算(第7号)など 補正予算関係12議案	原案可決 とすべき
平成23年度小浜市一 般会計予算など 23年度当初予算関係 11議案	原案可決 とすべき

3月定例会での 主な質疑

Q. 若狭霊場の建設あるいは移転について、現在どの段階にあるのか？ 23年度の計画はどうなっているのか？

A. 霊場の広域的な取組みについては、おおい町・高浜町と協議中。現在、建設候補地の選定あるいは今後の運営方針等を検討している。

23年度については、候補地となる地元へのお願いの段階に入ったと思う。

(民生文教分科会より)

Q. 防災行政無線の整備事業概要は？

A. 無線中継局は30局、屋外拡声器は10基の設置が必要と思われる。戸別の受信機については全世帯と事業所の分とし、1万2,000台を想定している。

23年度の基本設計の中で詰めていくが、各自治体の状況も調べ、十分検討していきたい。

(企画総務分科会より)

Q. 地域コミュニティサイト開設事業の必要性は？

A. 行政として市民の声を聞くことが必要であるが、若い世代の方にも意見交換できるような場を設定したい。

意見 運用に関しては、悪用されないよう現在の運用課題をしっかりと研究して取り組んでほしい。

(企画総務分科会より)

Q. 下水道事業は、年間8千万円の歳入不足を招いているが、本当に企業努力をしているのか？

A. 水洗化率の向上への啓蒙、不明水の調査など努力をしているが、収納率はおもわしくない。区域が広がり、対象人口が増えている事情もあるが、収納率が年々低下していることは取組み不足であり、今後も努力していきたい。

(産業分科会より)